

教えて!

富山 けいざい



ジョブ型雇用って？

◆職務明確、成果で処遇／コロナで従来型見直し

Q－ジョブ型雇用って何のこと。

A－文字通りそのジョブ（仕事）に適合した人材を採用する雇用形態です。これまで日本で長らく行われてきた終身雇用制度に基づく「メンバーシップ型雇用」と対になる言葉になります。最近では通信大手のKDDIが7月に1万人以上の正社員を対象に職務内容をあらかじめ明確にし、成果で処遇する「ジョブ型雇用」を導入すると発表しています。

Q－どんな理由で注目されているの。

A－社会や産業・技術が比較的安定していた時代では、人材を新卒一括で採用し、時間をかけて企業内のさまざまな仕事を経験しながら「その会社のスペシャリスト」という名の「ゼネラリスト」になることで年功型の賃金や退職金を得ることができました。

しかし現在は技術やサービスの変化が速く、人材を養成する時間が不足したり、働く側も適応できなかつたりと、成果と報酬にギャップや不公平が見られるようになってきました。昔のように労働時間に比例して価値が生み出される仕事は少なくなり、雇用する側、働く側双方からジョブ型への転換が叫ばれています。コロナ禍でリモートワークが増えていく中で「本当の労働価値」がより見える状態になり、従来型のメンバーシップ型を見直す転機にもなりました。

Q－課題はななに。

A－ジョブ型は仕事に対する雇用なので、何らかの理由でその仕事なくなった場合は「解雇」となるケースが多いようです。また自らのスキルを武器に転職を繰り返すジョブ型の人材は常に最先端の能力を獲得し続けなくてはならず、全ての労働者にとって都合の良い働き方とは言えません。

企業にとってスキルを持つ「即戦力」を雇用できるメリットがありますが、今のところメンバーシップ型を維持しながら、一部の業務にジョブ型を採用するというのが現実的な対応でしょう。

(北陸経済研究所の藤沢和弘が解説しました。随時掲載します)

雇用形態のイメージ

ジョブ型		メンバーシップ型
欧米	採用国	日本
職務記述書で定める。専門的、限定的	職務	配属組織と現場判断で決定。総合的
成果報酬型	報酬	労働時間対価型
職務に応じて採用	採用形態	新卒一括採用
仕事が無くなれば解雇も。原則転勤や異動なし	安定性	終身雇用。転勤や異動がある
高い	流動性	低い

※北陸経済研究所の資料などから作製